



大樹のこころ

花束をつくろう集会

12月4日から10日までの1週間が第75回人権週間でした。人権とは、人間が生きていく上で欠くことのできない権利や自由のことを指します。小学生向けに簡単にすると「人が人として、社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸せに暮らせる権利」のことです。この人権週間に合わせて、毎年本校では人権集会を行っています。今年も代表委員会が中心となった集会が、本日開催されました。名付けて「思いやりやさしい心の花束をつくろう集会～自分もみんなもハッピーだ！～」です。

人権集会の冒頭に校長の話がありました。ここで人権の意味を説明していきました。そして「いじめ」「からかい」「差別」などは人権を損なっていることを伝えました。逆に「仲良く」「助け合い」「アイコンタクト」などは相手を尊重することになり、人権を大切にする姿勢につながることをお話ししました。

校長の話の後は、代表委員会による寸劇です。代表委員の子供たちが、友達を無視したり、仲間外れにしたり、からかったりする劇を演じます。これらの劇を見たところで「どうしたらハッピーになれるのか」と全校に問いかけていきます。この問いを受けて、子供たちは友達と意見交換をしていきます。次の寸劇は「挨拶」がテーマです。先生が子供たちに挨拶をするけれども、子供たちが無視をする様子を演じます。ここでも「どうしたらハッピーになれるか」を全校で考えていきます。このように解答を示してしまうのではなく、子供自身が考えてみるのが大切です。

集会の最後は「花束リレー」です。各クラスの一番後ろの子から、前の子に「ありがとう」と言いながら、花束を渡していきます。全校で「ありがとう」の輪が広がっていきます。列の一番目まで来ると、それを代表委員が受け取り、模造紙に花束を張り付けていきます。すると全クラスの花束が集まり、大樹寺小全体の大きな花束が完成していきました。完成した花束を代表委員が提示すると、子供たちから「わ～！」という歓声があがりました。この集会から、子供たちの人権意識が高まっていくことでしょう。代表委員会のみなさん、素敵な集会をありがとうございました。



全国的にインフルエンザの感染が広がっています。11月中は本校ではインフルエンザ感染はほとんどなかったのですが、12月に入り徐々にインフルエンザにかかる子が増えてきました。2学期も残り2週間です。感染対策をしっかり行っていきたく思います。ご家庭でも手洗い・うがいの励行など感染対策をしていただけると幸いです。